



RESOLUTION No. 45) THE STRUGGLE OF THE NGÖBE-BUGLÉ PEOPLE OF PANAMA

第45号決議)パナマにおけるノベブグレ先住民の戦い

第29回国際公務労連 (PSI) 世界大会
2012年11月27日－30日、南アフリカ・ダーバン

数えきれない世代にわたって守られてきた天然資源と水資源の無差別かつ過剰な搾取を狙う外部の利害者から、生活環境を守るために戦ってきたために、パナマの先住民の兄弟であるノベブグレ族が2度にわたる攻撃を受けたことに対し、パナマのFENASEPが国際的な抗議運動を繰り返しているとの知らせを受け、

2012年2月にパナマの警察と精鋭部隊が行った非人道的な弾圧の結果、ノベブグレ先住民が受けた身体的、心理的攻撃の犠牲者の数を懸念し、

リカルド・マルティネリパナマ共和国大統領が、この不要な2度目の攻撃を2年以内に指令・実施したことを遺憾に思い、

さらに、パナマが批准したILO第169号条約の違反を、議論の余地なくここに再確認する。この条約は、先住民が独自の言語を用いる権利だけでなく、土地、領土の権利など他の権利と共に、先住民を集合体として認知される権利を明確に認識したものであった。

したがって、第29回世界大会は、度重なる攻撃を行ったパナマ共和国政府を可能な限り強い言葉で非難し、先住民の仲間に対して警察が武力を過剰に行使したことをパナマの司法制度で明らかにしたうえで、事件の責任を負う人物を特定し罰することを求める。

最後に、29回世界大会に出席する代議員に対し、この決議案の写しを自国のパナマ共和国大使館に送るよう訴える。

行動プログラムおよび規約を含む大会決議 [Congress resolutions](#) を参照のこと